

仏シードル造り紹介

観光局
理事長

ボサールさん講演

前 弘

フランスから来弘中
ついで説明した。

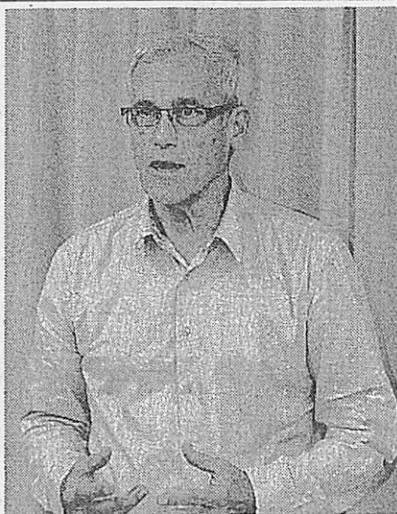
のシードル技術者でカ
ンブルメール観光局の
クリスチャン・ボサー
ル理事長が20日、弘前
市りんご公園で講演

し、フランスのシード
ル造りやリンゴ産業に
すなどとして土に落ちた

弘前シードル研究会
(高橋哲史会長) の主
催で、会員約20人が出
席した。

ボサール理事長は、
フランスでは木を揺ら
すなどして土に落ちた

フランスのシードル造りについて
解説するボサール理事長



リンゴを収穫し、シードルに使うことを紹介。基本的な造り方として、果肉を発酵させ

「良いシードルを造るにはリンゴがちゃんと熟しているかが重要。シードルに味をしっかりと付けるために(2度目の発酵は)2カ月ほど必要」と語った。会員からはシードルに使う主なリンゴの品種について質問があり「フランスでは品種より、甘みや苦みに気をつけている」と、品種よりも味を重視していることを話した。

(成田真矢)